

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4055	(H.24)No.	4055
-----------	------	-----------	------

事務事業名	赤目の渓谷災害復旧事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室	杉本一徳	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	2	文化資源
	小施策	2	文化資源の整備・活用
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	504104
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	史跡等整備事業
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	赤目の峡谷復旧事業

3. 事務事業の概要

事業内容	効果(事業目的)
平成23年台風12・15号により被災した国名勝赤目の峡谷の災害復旧事業。 ・防護フェンス、延長13.7mの復旧 ・遊歩道手摺26mの復旧 ・脱色アスファルト舗装14㎡の復旧 ・河川内に落ち込んだ土砂や立木の撤去処理	国名勝の鑑賞機会の提供を図ります。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
主な事業の実績・計画	需用費 消耗品費 5千円 工事請負費 2,629千円		平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)		
直接事業費	2,634千円						
財源内訳 (千円)							
国庫支出金	1,841						
県支出金	184						
地方債							
その他(財産収入)							
一般財源	(0) 609	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員	0.05人						
臨時職員等							
概算人件費	(0千円) 365千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 2,999千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	千人	-	-	-	-	480
	実績		188	175	170	145	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
21年台風18号の災害復旧後、23年の台風12号、15号により遊歩道等が被害を被った。補正予算対応で年度内で事業を完了しました。	今後の台風の大型化により、更なる被害が想定されるが、被害に耐える工法での災害復旧に努めていきます。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
赤目峡谷を実質管理している赤目渓谷保勝会と連携し、各々の分担を考慮して事業を実施する。	補助金や助成金等、事業実施にかかる可能な助成メニューを提供する。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項